

## 一般質問通告書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

平成30年8月22日

議席番号 16番

東村山市議会議長 あて

質問者 小林 美緒

### 記

#### 1. 東京2020オリンピック・パラリンピックで事前キャンプ誘致を！

##### (1) 東村山市・蘇州市スポーツ交流事業について

- ① 交流内容などについて詳細に伺う。
- ② 帰国後、参加した生徒達の役目は何か。(どういった事を望むか)
- ③ 今回の事業の成果はどのような事であったか。
- ④ 今回の事業を通して今後に期待すること、展望を。
- ⑤ 今後もこの交流は続けていくのか?見解を。

##### (2) 蘇州市からの留学生事業について

- ① 詳細を伺う。
- ② この事業で期待することは何か。

##### (3) 事前キャンプ誘致を見据えた場合について

- ① 子供の交流事業は今後、事前キャンプを含めた外国との交流という面でも重要な事である。が、実際に事前キャンプ誘致を視野に入れた場合にはもっと柔軟な感覚で取り組まなくてはならない。この辺りについての見解を。
- ② 実際に事前キャンプ誘致を視野に入れた場合、当市で可能だと思われる競技は何であると考えているか。(IF基準は考えずに)
- ③ キャンプ誘致が可能となった場合どのような課題と効果が考えられるか。
- ④ ③に対して準備すべき事はどのような事が考えられるか。

##### (4) 聖火リレーについて

① 現段階でどのような取り組みをしているか。

(5) 市長の事前キャンプ誘致に対する想いを伺う。

## 2、宿泊避難所訓練の実施について

平成30年10月13日～14日、東村山青年会議所では一泊避難所生活体験事業を行う。東村山では昼間人口が夜間人口に比べ81%まで減少すると言われている。そんな中これまでの避難所で最も活躍してきたのは市内の中学生や高校生だと聞く。災害発生後の避難所生活において率先して避難所運営を行えるような力を育む青少年人材育成を目的に東村山第一中学校で希望する生徒や地域の自主防災組織の方々と事業を行う。本市としての現状と事業に対してどう関わっていくか以下、伺う。

- ① 本市で行っている災害時などの訓練を改めて伺う。
- ② 本市で災害がもたらす最悪の状況はどのような事が想定されるか。
- ③ ②の状況を想定した中で考えられる有効な訓練とはどのようなものとするか。
- ④ 10月の青年会議所の事業に対して、市としてはどのように関わっていくのか。
- ⑤ 東村山青年会議所としても初めての事業である、市内で宿泊避難所運営の訓練をした団体や経験はあるか。またあるとすれば、その内容を伺う。
- ⑥ 実際の有事の際に役立つ事やできる事は「違った」という話をよく聞く。機能する訓練や、備え、知識とは何と考えるか。
- ⑦ 今回講演に来て頂く野口健さんは「テント村」を推奨している。見解を伺う。
- ⑧ 7月の西日本豪雨災害で総社市の片岡市長のツイッターでの市民への発信が注目された。総社市では2013年に「大規模災害被災地支援に関する条例」を制定し毎年1000万円の予算を計上している。備えがあってこそその対応だったと改めて感じた。今回の事業で子どもや地域の大人が学ぶものは大きいのではと考える。しっかりと意味のある事業にする為には、この訓練で自分で自分を守る事を学んで欲しいと考えている。この事業に対して、市長の見解や、期待することを伺う。